

Step 4 【3歳児の成長の様子：子育ての目安表】

【親のスタンス】

- ・ 基本的な生活習慣をきちんと身につけさせる。
- ・ 運動機能が伸びる遊びを経験させる。
- ◎ 自分の意思でしようとすることを認める。
- ◎ 会話や質問にきちんとこたえる（面倒がらずに）。
- ・ あいさつを習慣づける。
- ・ けんかやトラブルの仲立ちとなる。
- ・ 遊びに必要な言葉を知らせる（入れて、貸して、ありがとう）。
- ・ 決まりを守れた時は、ほめる。
- ・ 絵本などをじっくりと読んであげる（読み聞かせ）。
- ・ 家族とは何か（親子のコミュニケーション、家族の絆、家族の大切さなど）を考える。

□に、チェックしていきましょう。

1 基本的な生活習慣が自立する。

- スプーンで食べる 箸で食べる 簡単な衣服の着脱ができる
- トイレで排泄する 手を洗う

2 自我が、更にはっきりとする。

◎ 興味・関心に移りやすく、友だちが変わったものを持っているとすぐ欲しがるので、「ひとり占めしない」、「借りるときはことわって借りる」ことを体験させる。

☆具体的には

- 何でも「自分で」とやりたがる。
- 自分の気持ち（やりたいこと・いやなこと など）思いを通したがる。
- 自己中心的になる。
- 自分の意思を、言葉でうまく伝えられず、ダダをこねたような行動が多くなる。
- 何かやるときに、「見て！見て！」とよく言う。

3 言葉が豊かになり、「なぜ」「どうして」などの質問が盛んになる。

☆具体的には

- 見たものに興味を持ち、それに名前がついていることを知り喜ぶ。

- これまで知らなかったことを安心できる大人に尋ね、興味をもったものを通して言葉や知識を増やしている。
- 一度言い出すと、後に引かないことがある。

4 あいさつができるようになる。

☆具体的には

- 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「いただきます」「ありがとう」などのあいさつを覚える。
- 相手から「おはよう」・「さようなら」・「こんにちは」などと、あいさつをされると返せるようになる。

*あいさつを家庭で励行しましょう。

5 順番や決まりを守って遊ぶことができる。

☆具体的には

- 物を友達とわけあえる
- かわりばんに遊べる。
- 順番を待つことを理解する。
- 友達とのかかわりが多くなる。

*遊び道具をわけたり、交換しあって遊んだり体験させながら、物事の良し悪しをわからせていくことが必要です。

*ごっこ遊びなどを行う中で、物の貸し借りや決まりを知り、それに従うことの大切さや楽しさを体験から学ばせる。